

---

## Ⅱ. 事業の概況（平成29年度）

---

### 損益の状況

事業総利益は26億1,560万円で前年対比4,649万円の減少となりました。

事業利益は1億5,683万円で前年対比1,259万円の増加となりました。

経常利益は2億6,691万円で前年対比1,718万円の増加となりました。

税引前当期剰余金は1億8,574万円で前年対比4,508万円の減少となりました。

税引後当期剰余金は1億1,852万円で前年対比2,466万円の減少となりました。

### 営農指導事業

平成29年度は、タブレット端末を活用した園地データ集約による生産量・品質向上に努めるとともに、金融部門と連携した担い手・認定農業者への定期訪問により、園地・施設等の設備投資をバックアップしました。

組合員の農作業繁忙期に作業を手伝う「農家支援事業」は、286名（延572人・日）の職員が参加し、206件の農家を支援しました。

また、JA独自の「鳥獣被害対策事業」では、駆除実績3,295頭となり、電柵等被害防止負担とあわせ、10,807千円を支援しました。

### 園芸部門

1. 野ぶきの新品種（伊豆の春風）及びマーガレット新品種（伊浜ホワイト）の普及に努めました。
2. 農業経営支援システムによる、いちご農家へ個人面談を実施し、栽培環境を整え安定した生産に努めました。
3. 農家の高齢化対策として軽量作物（花麦・豆の花）の普及に努めました。

### 柑橘部門

1. がんばる新農業人事業で研修生をハウスみかん部会で受入れ、担い手の育成に努めました。
2. 「伊豆の春」の普及に努め、生産部会強化・担い手とのリレーション強化体制整備に努めました。
3. 防除暦を遵守した適期防除により、安全・安心な柑橘類の生産に努めました。

### 林産部門

1. 山葵が「世界農業遺産」に認定されたことにより国内外からの知名度も上がり注目される品目となりました。それに伴い、生産者の意欲拡大に繋がり出荷量も増加しました。
2. 椎茸は原木しいたけ生産力増強対策事業の活用により原木の導入と植菌量の拡大に繋がりました。

### 生活指導事業

1. 「郷土料理を次世代に」をテーマに親子クッキングフェスタを開催しました。
2. 「いっしょにやろうよ」の活動により、認定こども園・小学校等で交流を行いました。
3. いきいきライフセミナー（営農加工・手芸・料理・健康・陶芸）などのクラブ活動と健康管理を学び、部員の交流や知識の向上を図りました。

---

## 広報事業

---

1. 地域農業を振興する J A の情報発信に努めました。
  2. 県下広報統一テーマにもとづいた広報を進めました。
  3. 広報効果の分析を行い、広報活動の強化に取り組みました。
  4. J A の取り組みに広く支持・共感を得るため、報道機関との連携を強化しました。
- 

## 販売事業

---

上期は、花卉類の作付面積減少や柑橘類の不作により出荷量が減少しました。  
下期は、夏場の高温や秋口の曇天・長雨による日照不足から植付けや生育が遅れ、出荷時期や出荷量に大きく影響した品目もありました。厳しい販売環境のなかで山葵は、夏場の渇水の影響を受けながらも、安定的な出荷により高値で推移し、計画及び前年を上回る堅調な販売でした。「ほのぼの売店」は、出荷者や来客の増加により計画を達成し、順調に売上を伸ばしました。  
また、格外品の柑橘類をゼリー原料等として販売し、組合員の所得増大に努めました。

---

## 購買事業

---

平成29年度は、「農家組合員の所得増大」のため、他 J A と連携した肥料の共同仕入れを行い供給価格引き下げに努めました。また、肥料の組合員割引の実施、お買得肥料・お買得農薬の実施により生産コスト抑制に努めました。  
今年度より特保飲料・防災用品の販売を開始し、健康志向や防災への取り組みを行いました。  
また、食料品移動販売においては、利用者の要望にあわせ商品の充実と巡回地区の見直しを行い好評をいただきました。

---

### 1. 生産資材

---

肥料・農薬の一部価格を引き下げたことにより、肥料93.7%、農薬95.7%と計画を下回りましたが、包装資材が103.9%と計画を上回り、生産資材全体では106.2%と計画を上回りました。  
なお、生産コスト軽減の取り組みとして、J A 伊豆太陽農家所得増大支援金21,243千円を実施しました。

---

### 2. 生活資材

---

生活資材は、タバコやお米券の売り上げが減少したことにより日用品86.0%と計画を下回りましたが、シロアリ駆除等のその他生活資材が123.6%と計画を上回り、生活資材全体で100.6%と計画を上回りました。

---

### 3. 葬祭事業

---

メモリアルホールの利用が順調に推移し、施行件数は411件で、前年より15件増加し、ホール利用率は全施行件数の84.9%となりました。又、伊豆斎場での占有率は41.5%となりました。

---

---

---

---

## 金融事業

平成29年度は、「地域の農業発展と豊かな暮らしをサポートするJAバンク機能の発揮」を金融部門事業計画基本方針に掲げ、組合員・利用者のライフイベントやニーズに合わせ、JAらしい特色のある「農」や「食」をキーワードとした付加価値のある金融商品・サービスの提案及び情報の提供を通じて暮らしをサポートし、農業メインバンクとしての機能発揮に取り組んでまいりました。

金融・共済合同観劇、合同企画旅行等のイベントの実施、また夏・冬の静岡県特産の農畜産物が当たるキャンペーンを実施した結果、貯金につきましては、年度初来32億円を積み上げることができました。また、相続セミナーを開催し、相続のアドバイスを実施しました。

一方、貸出金につきましては、融資担当者と営農指導員による認定農業者定期訪問、住宅ローン利用者宅への定期訪問を継続実施してきましたが、人口の減少と高齢化の進展から資金需要は拡大基調には至らず、年度初来4億円の減少となりました。

さらには、地域密着型企業として、地域の農業の大切さと地域で働くことの大切さを知ってもらうため、管内小学生を対象に「1日こども店長」を実施しました。

### 金融円滑化に関する対応

当組合は、農業者の協同組織金融機関として「健全な事業を営む農業者をはじめとする地域のお客さまに対して必要な資金を円滑に供給していくこと」を最も重要な役割の一つであると認識し、その実現に向けて「金融円滑化にかかる基本方針」を理事会にて制定し、取り組んでおります。

#### 金融円滑化にかかる基本方針（概要）

- 1 新規のご融資・お借入条件の変更等のお申込みに対する、柔軟な対応
- 2 お客さまの経営相談等、経営改善に向けた取組みへの支援
- 3 新規のご融資・お借入条件の変更等のご相談・お申込みに対する適切かつ十分な説明
- 4 新規のご融資・お借入条件の変更等に関する苦情相談への公正・迅速・誠実な対応
- 5 金融円滑化法の趣旨を踏まえた適切な対応
- 6 当組合の金融円滑化管理に関する体制

※ 方針の全文については、ホームページをご覧ください。

なお、苦情相談等を適切に行うための体制については以下のとおりとなります。

(1) お客さまからの金融円滑化にかかるご相談の窓口を金融部に設置しているほか、各支店においても承っております。

(2) お客さまからの当組合の金融円滑化にかかる措置に対する苦情については、苦情等統括部署に受付窓口を設置しております。また、各支店で苦情を受けた場合には、当組合所定の手続きに従って、速やかに苦情等統括部署に連絡をし、各支店が連携のうえ、適切な対応を実施する体制を整備しております。

また、当該措置に係る中小企業者の事業についての改善又は再生のための支援を適切に行うための体制については、金融円滑化責任部署又は金融円滑化管理協議会等を中心に、お借入条件の変更等を行ったお客さまの経営状況や経営改善計画の進捗状況を継続的に把握し、必要に応じて経営改善又は再生のための助言等を行う等、お客さまへの支援について真摯に取り組みます。

特に、農業者のお客さまに関しましては、当組合の営農部門とも連携し、経営相談等行う体制を整備しております。

---

## 共済事業

J A共済を取り巻く環境は、主軸である観光業の低迷に加え、正組合員・利用者の少子高齢化・人口減少により将来的にも厳しい状況が続いております。

本年度は、「組合員・利用者との関係強化の徹底と新たな仲間づくり」を基本方針として「利用者満足度向上に向けた取り組み」「次世代層との関係構築に向けた取り組み」「総合保障を目指したエリア戦略に向けた取り組み」を中心に事業展開を図りました。

このような厳しい環境、競合他社がひしめくなか、職員一丸となった普及活動とライフアドバイザーを中心とした保障の見直し、提案活動を積極的に取り組んだ結果、平成29年度の推進総合ポイントを達成しました。

また、次世代層との関係構築に向けた取り組みとして、平成28年8月より取り組んできた「アンパンマン子ども倶楽部」会員も平成29年度には新たに82名の会員が加わり、総勢160名となりました。

短期共済は、自動車事故査定業務が県下J A第1位の対応力評価を頂き、自動車共済の新規獲得に繋がるとともに、継続時の積極的なグレードアップ推進により推進総合ポイント達成に大きく貢献しました。

共済保全業務は、想定される大規模地震等に備えた自然災害損害調査員研修会をはじめとする各種研修会を実施し、知識向上、対応力向上を図るとともに、コンプライアンス態勢の徹底に努めました。

---

## 加工事業

加工品卸販売が厳しいなか、オリジナルのニューサマードリンクなどの飲料商品販売が好調でした。主力である「わさび漬」の販路拡大による販売力強化や原料の受入態勢を整備し、加工原料の受入増加に努めました。

加工所全体の販売高は、153,950千円（計画比100.1%、前年比98.2%）となり計画を達成することができました。

---

## 福祉事業

居宅介護支援事業では、年間1,500人の計画に対し1,697人、利用者数では計画を上回りました。また、実績額についても計画を大きく上回りました。利用者の獲得を積極的に取り組んだことがその要因となりました。

訪問介護事業では、年間720人の計画に対し、776人と計画を大きく上回りました。常勤ヘルパーを1名、増員したことが要因となりました。

福祉事業全体では、費用の削減と利用者の増加により、差引利益43,868千円（計画対比103.4%、前年対比105.7%）となり、計画対比、前年対比とも上回りました。

---

## 監査部門

平成29年度は、内部管理態勢および内部牽制を重視した監査の強化に努め、不祥事の未然防止と早期発見に重点を置き取り組みました。本店を含め全事業所の無通告監査及び一部の事業については外部確認を実施し、リスクの高い取引や事務処理等の適正性・有効性を中心に監査を実施しました。

また、管理者に対しては、日常の管理状況を検証し、リスク認識の強化を図るとともに管理意識の高揚に努め、担当者には事務マニュアルに沿った事務処理の徹底とコンプライアンス意識の強化を図る指導監査を実施しました。



事業・活動のトピックス（平成29年度）

年 月 日	処 理 事 項
平成29年4月3日	平成28年度定年退職者退所式
4日	L A進発式
6日	第58回東伊豆町花卉園芸組合通常総会
11日	第27回青壮年部通常総会
12日	第27回女性部通常総代会
18日	青壮年部河津支部食育活動（落花生の種まき）
18日～5月2日	平成28年度決算監事監査
28日	第1回定例理事会
	第1号議案 平成28年度不良債権の処理方針について
	第2号議案 平成29年度コンプライアンス・プログラム について
	第3号議案 下河津支店建設委員会委員の変更について
	第4号議案 労働契約法改正による就業規則の一部変更、 規程の新設及び申出様式の新設について
	第5号議案 A T M更新に伴うリース契約の締結について
	第6号議案 固定資産（支店O T M）の取得について
	第7号議案 3か年計画（平成29年度～平成31年度）及び 平成29年度事業計画の一部変更について
5月1日	青壮年部南伊豆支部食育活動（もみまき）
1日～8日	J A全国監査機構決算期末監査
3日	ニューサマー部会消費宣伝
12日	東伊豆町花卉園芸組合カーネーション部会消費宣伝
16日	青壮年部稲取支部（芋さし）
16日～23日	地区別座談会
17日	第1回監事会
26日	第2回定例理事会
	第1号議案 平成28年度貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案 注記表、事業報告、附属明細書の承認について
	第2号議案 第27回通常総代会について
	第3号議案 平成29年組員表彰について
	第4号議案 農地利用集積円滑化事業規程の一部変更について
	第5号議案 J A伊豆太陽葬祭業務規程の新設について
〃	第2回監事会
〃	南伊豆花卉園芸組合通常総会
30日～31日	いきいきライフセミナー開講式

年 月 日	処 理 事 項
平成29年6月2日	青壮年部南伊豆支部食育活動（田植え）
14日～15日	女性部リーダー事務局研修会（焼津）
16日	食農教育推進委員会
23日	第27回通常総代会（総代847名中747名出席）
〃	第1回臨時理事会
	第1号議案 役付理事の体制について
	第2号議案 役付理事並びに代表理事の選出について
	代表監事及び常勤監事の選出について
	第3号議案 理事専門委員会設置規程の一部変更について
	第4号議案 理事専門委員会担当理事の選出について
	第5号議案 平成29年度理事報酬の決定について
	平成29年度監事報酬の決定について
	第6号議案 退任理事に対する退職慰労金の支給について
	退任監事に対する退職慰労金の支給について
	第7号議案 平成29年度会議日当について
〃	第3回監事会
28日	第3回定例理事会
	第1号議案 平成28年度業務報告書について
	第2号議案 平成28年度連結業務報告書について
	第3号議案 下河津支店建設委員の変更について
	第4号議案 固定資産（下河津支店）の取得について
	第5号議案 金融移動店舗車両導入に伴うリース契約について
	第6号議案 平成28年度決算監事監査指摘事項回答書について
〃	第4回監事会
7月3日	女性部員と常勤理事との懇話会
〃	中伊豆温泉病院と女性部の意見交換会
4日	いちご委員会生産者大会
6日	野ぶき部会総会・販売報告会
11日	第64回伊豆花卉園芸組合連合会通常総会
13日	柑橘委員会・中晩柑販売反省会
18日	J A改革に伴う女性部あり方勉強会
27日	第66回静岡県J A青年組織活動実績・J A青年の主張発表大会
28日	第4回定例理事会
	第1号議案 平成28年度ディスクロージャー誌の開示について
	第2号議案 出資減口について
	第3号議案 個人情報保護法等の改正を踏まえた「個人情報保護 および情報セキュリティに関する規程類」の改正・ 廃止について
〃	第5回監事会
〃	絹さや部会総会・販売報告会







